

各地本労使懇談会ひらく



日刊紙業通信社 市川取材部長の講演を聞く参加者

適正な人員配置を把握

【北海道本発】六月五日(金)、日本製紙(株)釧路工場の労使を受入担当として、釧路市にて第二十一回北海道紙パルプ産業労使懇談会を開催しました。北海道の各地事業所より、労使総勢五十四名の参加があり、紙パ連合本部からは鈴木委員長にご参加を頂きました。

最初に行った施設見学では、釧路広域連合清掃工場へ足を運びました。この施設は、平成九年十二月に北海道で「ごみ処理の広域化計画」が策

定され、道内二百二十町村を三十二ブロックとする広域処理の基本的な考え方に基き、平成十四年に釧路広域連合として設立、ごみの持つエネルギーを最大限に利用する熱分解方式化溶融技術を用いた最新鋭の焼却設備にて「安全と安心」、「資源の循環」、「環境負荷の低減」をコンセプトに平成十八年から稼働しています。

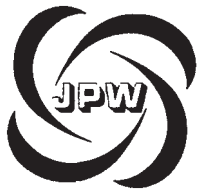
現在、釧路市・釧路町・鶴居村・白糠町・弟子屈町の五市町村が加入

する機会が減多にないことと、「業界紙の果たしてきた役割」や「紙パルプ産業の現状」等、業界紙記者としての経歴を踏まえた話の中には、業界著名人の名前があげられたり、各社の新マシン稼働による影響など、紙パ産業で働く私たちとは違った視点での話しを聞くことが出来ました。

また、鈴木委員長からは、「競争力強化を目指す各職場では少数化を進めているが、全ての職場が対象となるわけでは

紙パ連合

発行所
日本紙パルプ紙加工
産業労働組合連合会
〒107-8333 東京都港区北青山
2丁目12番4号
TEL 03-3402-7656
FAX 03-3402-7659
URL <http://www.jpw.or.jp/>
発行人 鈴木辰男
購読料は組合費を含む
定価2頁10円、4頁20円



加盟組合の紹介

立山製紙労働組合

○製品の紹介
当社は、古紙一〇〇%の原料(新聞古紙・雑誌古紙・ダンボール古紙)を使用し、板紙および紙管原紙・紙管製品

の製造・加工を行っています。多彩な加工に際する板紙製品、品質・生産量ともに業界トップを誇る黄板紙を中心に、当

社の各種板紙製品は各分野で高い信頼と高評を得ています。また、紙管原紙を抄造・加工しており、巻芯や各種容器、包装材料



前列：右から 佐竹副執行委員長・村上執行委員長・高橋書記長
後列：右から 若林執行委員・寺西会計監査・林事務局長清水会計監査・畑執行委員尾島執行委員

組合の設立 1946年8月15日
組合員数 62名
組合の構成 執行部：9名 (専従者なし)

料から建築素材と、さまざまな分野・さまざまな用途に活躍する紙管製品を、一貫生産ラインの確立により、時代のニーズに際する多彩な製品作りに努めています。

○地域の紹介
日本独特で四季折々の風景を楽しむことができる雄大な立山連峰が見守る自然環境で、剣岳から流れ落ちる清流や、のどかな田園地帯が織り成す中、水と緑に包まれて当社は自然と地域に調和しています。

○トピックス(レク活動)
また、若手執行委員が組合の必要性・重要性を理解する為に、上部団体や支援団体の会合やボーリング大会、超目玉景品が当たるピングゲーム&バーベキューを行います。

ユー大会や職場ごとの小旅行等、色々な企画を立案し開催しています。

百年に一度の大不況の中で様々な問題に直面しても、会社と組合が共に目指す未来を労使協力の信念のもとに協議し、Win-Winの関係性を重視してまいります。

○組織の課題や今後の抱負
諸先輩方が今まで築き上げてきた労働組合を、労使協力を保ちつつ将来に続けていくことが課題と認識しています。

退職給付制度勉強会を行う

【東海地本発】六月九日(金)第二十一回東海地方労使懇談会を静岡市「東海軒会館」で開催しました。紙パ本部より鳥居中執を招き、労使総勢三十五名が参加しました。

数年前から、安全をテーマとし、他産業の製造現場、あるいは昨年は、今月開港した静岡空港の建設現場の見学をしてき

居中執からは、組織拡大を主とした挨拶がなされました。また、労働金庫より講師を招き「退職給付制度の今後の動向」と題したセミナーを開催しました。

私たちが、働くものにとって、賃金・一時金同様大切な退職金であり、会社側にとっても財務諸表に影響してくることから、皆、真剣に耳を傾けていました。

懇談会終了後の懇親会では、各社・各組合の交流が深められました。また、記者(巴川製紙所)



▼日本の季節はこれから夏を向かえようとしているが、先日、新型インフルエンザが世界的に大流行に入ったと宣言された。インフルエンザと聞く冬場に流行するものだから、思いがただが、今回は、ウィルスの変異により人から人へと感染が広まっている。▼自己防衛で感染がある程度防げるとの見方があり、手洗い・うがい・マスクの着用などで対応し感染から身を守る事が大切である。▼今年には経済環境(百年に一度の不況)・自然環境(地球温暖化)とも厳しい状況となっている。しかし、厳しい時代を乗り越える為にはしっかりと時代の環境変化に柔軟な取り組みが必要である。

▼組合員数減少の中、組合活動においても、柔軟な取り組みが必要とされている。組合員間の対話・コミュニケーションが大切であり、生の声を聴き前へ進むことが重要である。▼特に若い世代の組合員との対話で組合活動への理解と協力を導き組合活動に積極的に参加を呼びかけて行くことも重要課題のひとつである。(東北地本・浦田委員長・丸三製紙労働組合)

